



表紙: コミミズク (提供: 河村芳郎)

- 079 **巻頭言** 戰略的基礎研究が押し上げる日本の競争力
宮坂 力
- 083 **論説** 基礎研究に高い価値を!
～科研費からの発展的卒業がもたらす新たな視点～
猪熊泰英
- 085 **特集** 心地よさをデザインする化学
—香りと触感のサイエンス—

化粧品、トイレタリー製品、食品、芳香剤など、我々の暮らしを豊かにする製品において、「香り」や「肌ざわり・使い心地」といった感性的な価値は、機能性と同等、あるいはそれ以上に重要となっている。これら的心地よさは、感覚的な言葉で語られることが多いが、その根底には分子構造と物性、作用メカニズムといった緻密な化学の原理が存在する。本特集では、嗅覚に訴える『香り』と触覚に訴える『触感』を2つの柱とし、心地よさを化学の力でデザインする「香りと触感のサイエンス」に焦点を当てる。香料分子の設計や悪臭を断つ消臭の化学、脳や受容体レベルでのメカニズム解明といった「香りの科学」、そして、界面科学に加え、摩擦現象や生体模倣センシングから物理的起源に迫る「触感の科学」、さらには、香りと触感のクロスモーダル効果や、感性価値の可視化手法まで、多角的な視点から最新の研究動向を紹介する。化学がもたらす感性価値創造の奥深さと面白さを、第一線の研究者・技術者の方々に解説いただく。

〔担当: 丸山由貴・砂田祐輔・竹入史隆〕

- 1 感性価値としての心地よさの見える化と製品開発
神宮英夫
- 2 分子の世界から紐解く香料の科学
——においの特徴は、におい分子の構造から始まる
長谷川登志夫
- 3 悪臭を化学の力で断つ
——染色の手法を用いた消臭繊維の悪臭除去メカニズム
雨宮敏子
- 4 匂いが生み出す行動と情動
——分子レベルのメカニズムから社会的なつながりまで
池田由茉・東原和成
- 5 細胞から紐解く香りと触感のクロスモーダル効果
——触覚を司るメルケル細胞における香り受容体の発現に見る可能性
堤も絵
- 6 感性トライボロジー
——しっとり・さらさら・なめらか感の物理的起源とコントロール
野々村美宗

103

Division Topics

- 1 無機化学 「気相水酸化物化反応」—水酸化物および酸水酸化物の新規合成法
- 2 電気化学 電気を用いない電解反応への挑戦

2025 年度化工誌編集委員会

委員長：西山 繁 理事：跡部真人

幹事委員：菅 孝剛 / 長門石 曜 / 緒明佑哉 / 砂田祐輔 / 三宅亮介 / 山本崇史 / 和田宏明 / 中村将志 / 岡本敏宏 /

丸山由貴 / 栗山敬祐 / 矢島知子 / 八波利恵 / 田口 司

委員：伊掛浩輝 / 畠中美穂 / 小林直樹 / 清水章弘 / 守谷 誠 / 兵藤憲吾 / 深澤倫子 / 竹入史隆 / 須貝 威

監修：植村 榮 / 岩本振武

★化工誌記事についてのお問合せ E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

デザイン：(株)マツダオフィス

104 **Gallery 受託製造企業の製造技術**

116 **飛翔する若手研究者**

1 フッ素化人工チャネルの開発
佐藤浩平

2 ペロブスカイト太陽電池における自発的ヘテロ界面制御
——第一級有機アンモニウムからなる有用イオン液体の創製
西村直之

120 **BCSJ/Chem Lett グラフィカルアブストラクト**

123 **化学会発**

企業現場見学会 2025 開催報告 産学交流委員会人材交流小委員会

126 **支部だより**

化学への招待（秋田開催）の出前講座 東北支部

第 26 回日本化学会九州支部・韓国化学会釜山支部合同セミナー 九州支部

128 **CCI サロン**

日本と海外の研究環境 葛目陽義

130 **編集者の独り言**

131 **会告** (次号予告)

132 **お知らせ**

行事一覧

講習会・講演会

研究発表会——発表募集

140 **掲示板**

141 **求人・求職**

次頁 **広告索引・広告資料請求用紙 (ご活用下さい)**